

工事名					令和4年度 有明荘トイレ改修工事										
工事場所					安曇野市 有明荘										
工事概要 ・既設和式便器を洋式便器へ改修 ・1階:和式便器→洋式便器(洗浄便座付き)2ヶ所 ・2階:和式便器→洋式便器(洗浄便座付き)3ヶ所					金抜設計書										
					施 工 方 法					請 負					
					施 工 期 間					契約日から 令和4年8月22日					
					担 当 課					観光課 観光施設担当					
					工事担当課					財産管理課 施設経営担当					

令和4年度 有明荘トイレ改修工事

位置図



No.	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
	令和 4年度 有明荘便所改修工事						
I	共通仮設費		1	式			
	直接工事費						品番はすべて参考とする
II	建築工事		1	式			
III	電気設備工事		1	式			
IV	機械設備工事		1	式			
	直接工事費 計						
V	諸経費						
	現場管理費		1	式			
	一般管理費		1	式			
	合 計						
	消費税10%						
	総 計						

No.	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
1	仮設工事						
	墨出し		7.0	m ²			
	内部足場損料	脚立足場 1か月	5.4	m ²			
	清掃片付け費		15.1	m ²			
	クリーニング費		15.1	m ²			
	養生費		15.1	m ²			
	仮設間仕切		3.6	m ²			
	小計						
2	雑工事						
	天井点検口	内外共アルミ額縁枠 450角	2	箇所			
	小計						

No.	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
	令和 4年度 有明荘便所改修工事						
III	電気設備工事						
	ケーブル	EM-EEF 2.0-3C	140	m			
	ブラモール	2号	11	m			
	同上コーナーボックス		5	個			
	同上水平曲がり	2号	2	個			
	露出スイッチボックス	1個用	5	個			
	埋設コンセント	2P15A*2EET P共	5	個			
	漏電ブレーカー	2P50AF/20AT	3	個			
	消耗品・雑材料		1	式			
	労務費		1	式			
	電気設備工事直接工事費計						

No.	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
	令和 4年度 有明荘便所改修工事						
III	機械設備工事						
1	衛生器具設備						
	洋風大便器	CS215BP、SH215BAS、TCF6623	5	組			
	棚付二連紙巻器		5	個			
	止水栓		5	個			
	器具取付工		5	箇所			
	小計						
2	工費						
	既存便器研り撤去		5	箇所			
	同上産廃処理		1	式			
	床コンクリート穴埋め補修	材工共	5	箇所			
	排水・給水配管工	〃	5	箇所			
	小計						
3	運搬費						
	運搬費		1	式			
	小計						
	機械設備工事直接工事費計						

現 場 説 明 書

安曇野市総務部 財産管理課 施設経営担当

1 工事名称 令和4年度 有明荘トイレ改修工事

2 工事場所 安曇野市 有明荘

3 工事概要

既設和式便器を様式便器へ改修する

- ・ 1階：和式便器→洋式便器（洗浄便座付き）2ヶ所
- ・ 2階：和式便器→洋式便器（洗浄便座付き）3ヶ所

4 一般事項について

(1) 現場説明会

本件の内容は、現場、入札心得、入札公告、特記仕様書、設計図書、安曇野市建築工事の手引等関連する仕様書類、長野県建設工事標準請負契約約款に基づき市が定める契約書（案）及び現場説明書（以下「設計図書等」という。）によるものとし、現場説明会は実施しない。

(2) 設計図書等に対する質問及び回答について

設計図書等に関する問い合わせは、「入札公告」記載のとおりとし、入札執行が完了するまでの間、本件に関しての面談又は電話（ただし、指定の問い合わせ先は除く。）等は一切認めない。

(3) 工事費内訳書の提出

入札時の工事費内訳書提出については「入札公告」による。

(4) 工事費内訳書記載数量は参考数量とする。

5 本工事における特記事項

- (1) 施設を運営しながらの施工となる為、利用者等に支障が無いよう安全管理に努めること。
- (2) 施工に係る支障事項は、事前に施設管理者へ報告を行い、作業内容等十分な配慮を行うこと。
- (3) 工程は、施設管理者と協議を行い、なるべく影響が少なくなるよう調整すること。
施設管理者との協議により、施工期間及び作業時間の調整を行い施工すること。
- (4) 夜間、早朝及び休日での施工を実施する場合は施設管理者と打合せを行い、工事監理者・監督員および施設管理者の承諾を得たのちに施工すること。
- (5) 新型コロナウイルス感染症について、協議の上対策を十分講じること。

6 その他

(1) 火災保険等への加入について

火災保険等加入期間については、耐火建築物にあつては基礎工事完了時から完成期日後 14 日まで、木造等非耐火建築物にあつては請負契約後から完成期日後 14 日まで、設備工事にあつては機械類搬入時から完成期日後 14 日までとする。

(2) 高度技術・創意工夫・社会性に関する実施状況の提出について

請負者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、又は、地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、施工に先立ち所定の様式により提出することができる。

高度技術・創意工夫・社会性等の具体的内容がある場合は、下記の「別添様式」及び、「説明資料」を提出すること。なお、用紙サイズはA4版とする。

令和4年度 有明荘便所改修工事 仕様書

1. 工事概要

- [illegible]

II 建築工事仕様

- (1) 交通仕様
 (A) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官庁審判部建築部「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事標準仕様書）平成18年版」（以下「改修仕様」という。）により、改修仕様に記載されていない事項は、建築工事標準仕様書「公共建築工事標準仕様書（建築工事標準仕様書）平成18年版」（以下「標準仕様」という。）、及び「建築物解体工事共通仕様書（解説書）平成18年版」（以下、「標準仕様」という。）を適用する。
 (B) 電気設備工事及び機械設備工事は本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの標準仕様書を適用する。
2. 特記仕様
- (1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
 (2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。
 ○印の付いた場合は、※印の付いたものに適用する。
 ○印と※印の付いた場合は、共に適用する。
 (3) 特記事項に記載の「[]」の表示は、該項目の適用・不適用の区分であり、当該区分は当該表示とする。
 (4) 特記事項に記載の「()」の表示は、該項目の適用・不適用の区分であり、当該区分は当該表示とする。
 (5) 特記事項に記載の「()」の表示は、該項目の適用・不適用の区分であり、当該区分は当該表示とする。

章	項 目	特 記 事 項
1 一般共通事項	① 適用基準等	①建築工事標準解説図 ②数値計算式集 ③建築設計集 ④工事集の履行方（※訂正後） 建築編 ⑤安技要綱（建築工事の索引） ⑥公共建築改修工事標準仕様書 ・公共建築工事標準仕様書 ・建築物解体工事共通仕様書、用解説 ⑦解体工事と公共施設改修工事標準（建築工事編） ⑧長期非居住リサイクル推進計画 国土交通省大臣官庁管理官庁建築部監修（平成13年版） 国土交通省大臣官庁管理官庁建築部監修（平成17年版） 国土交通省大臣官庁管理官庁建築部監修（平成18年版） 国土交通省大臣官庁管理官庁建築部監修（平成19年版） 安芸県市町村建築部監修 国土交通省大臣官庁管理官庁建築部監修（平成19年版） 国土交通省大臣官庁管理官庁建築部監修（平成18年版） 国土交通省大臣官庁管理官庁建築部監修（平成18年版） 建設省建設局建築建築部監修・住宅局建築部建築部監修
	2. 品質計画	建築基準法に基づく風圧区分等を必要とする場合は次のように 風載速（V ₀ =） ※当地相対高度区分（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ） ※風速区分 表示市145号 別表（ ）
	3. 電気保安技術等	※適用する 適用しない
	4. 施工条件等別項目	
	⑤ 発注者の経理等	別紙紙解施工仕様書による ⑥補外適用修正理 また、収支・中間収支・最終収支等の収支について予め監理機関と協議すること。 ・引渡しを要するもの ・両生流済の利用を要するもの
6. 特別な材料の工法	造修標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、当該箇所の指定工法による。	
7. 施工数量調査	調査範囲及び調査方法 ※明示 既存部分の破壊を伴う場合の修繕方法 ※指示	
8. 技 術 士	※ 適用する（一般技能士を採用している現場である旨の表示をすること。） ・適用しない	
	適用工事種別	技術決定作業
	防水改修工事	・7274防水工事作業 ・7794a 4層張防水工事作業 ・7794b 5層張防水工事作業 ・7794c 6層張防水工事作業 ・7794d 7層張防水工事作業 ・7794e 8層張防水工事作業 ・7794f 9層張防水工事作業 ・7794g 10層張防水工事作業 ・7794h 11層張防水工事作業 ・7794i 12層張防水工事作業 ・7794j 13層張防水工事作業 ・7794k 14層張防水工事作業 ・7794l 15層張防水工事作業 ・7794m 16層張防水工事作業 ・7794n 17層張防水工事作業 ・7794o 18層張防水工事作業 ・7794p 19層張防水工事作業 ・7794q 20層張防水工事作業 ・7794r 21層張防水工事作業 ・7794s 22層張防水工事作業 ・7794t 23層張防水工事作業 ・7794u 24層張防水工事作業 ・7794v 25層張防水工事作業 ・7794w 26層張防水工事作業 ・7794x 27層張防水工事作業 ・7794y 28層張防水工事作業 ・7794z 29層張防水工事作業 ・7794aa 30層張防水工事作業 ・7794ab 31層張防水工事作業 ・7794ac 32層張防水工事作業 ・7794ad 33層張防水工事作業 ・7794ae 34層張防水工事作業 ・7794af 35層張防水工事作業 ・7794ag 36層張防水工事作業 ・7794ah 37層張防水工事作業 ・7794ai 38層張防水工事作業 ・7794aj 39層張防水工事作業 ・7794ak 40層張防水工事作業 ・7794al 41層張防水工事作業 ・7794am 42層張防水工事作業 ・7794an 43層張防水工事作業 ・7794ao 44層張防水工事作業 ・7794ap 45層張防水工事作業 ・7794aq 46層張防水工事作業 ・7794ar 47層張防水工事作業 ・7794as 48層張防水工事作業 ・7794at 49層張防水工事作業 ・7794au 50層張防水工事作業 ・7794av 51層張防水工事作業 ・7794aw 52層張防水工事作業 ・7794ax 53層張防水工事作業 ・7794ay 54層張防水工事作業 ・7794az 55層張防水工事作業 ・7794ba 56層張防水工事作業 ・7794bb 57層張防水工事作業 ・7794bc 58層張防水工事作業 ・7794bd 59層張防水工事作業 ・7794be 60層張防水工事作業 ・7794bf 61層張防水工事作業 ・7794bg 62層張防水工事作業 ・7794bh 63層張防水工事作業 ・7794bi 64層張防水工事作業 ・7794bj 65層張防水工事作業 ・7794bk 66層張防水工事作業 ・7794bl 67層張防水工事作業 ・7794bm 68層張防水工事作業 ・7794bn 69層張防水工事作業 ・7794bo 70層張防水工事作業 ・7794bp 71層張防水工事作業 ・7794bq 72層張防水工事作業 ・7794br 73層張防水工事作業 ・7794bs 74層張防水工事作業 ・7794bt 75層張防水工事作業 ・7794bu 76層張防水工事作業 ・7794bv 77層張防水工事作業 ・7794bw 78層張防水工事作業 ・7794bx 79層張防水工事作業 ・7794by 80層張防水工事作業 ・7794bz 81層張防水工事作業 ・7794ca 82層張防水工事作業 ・7794cb 83層張防水工事作業 ・7794cc 84層張防水工事作業 ・7794cd 85層張防水工事作業 ・7794ce 86層張防水工事作業 ・7794cf 87層張防水工事作業 ・7794cg 88層張防水工事作業 ・7794ch 89層張防水工事作業 ・7794ci 90層張防水工事作業 ・7794cj 91層張防水工事作業 ・7794ck 92層張防水工事作業 ・7794cl 93層張防水工事作業 ・7794cm 94層張防水工事作業 ・7794cn 95層張防水工事作業 ・7794co 96層張防水工事作業 ・7794cp 97層張防水工事作業 ・7794cq 98層張防水工事作業 ・7794cr 99層張防水工事作業 ・7794cs 100層張防水工事作業 ・7794ct 101層張防水工事作業 ・7794cu 102層張防水工事作業 ・7794cv 103層張防水工事作業 ・7794cw 104層張防水工事作業 ・7794cx 105層張防水工事作業 ・7794cy 106層張防水工事作業 ・7794cz 107層張防水工事作業 ・7794da 108層張防水工事作業 ・7794db 109層張防水工事作業 ・7794dc 110層張防水工事作業 ・7794dd 111層張防水工事作業 ・7794de 112層張防水工事作業 ・7794df 113層張防水工事作業 ・7794dg 114層張防水工事作業 ・7794dh 115層張防水工事作業 ・7794di 116層張防水工事作業 ・7794dj 117層張防水工事作業 ・7794dk 118層張防水工事作業 ・7794dl 119層張防水工事作業 ・7794dm 120層張防水工事作業 ・7794dn 121層張防水工事作業 ・7794do 122層張防水工事作業 ・7794dp 123層張防水工事作業 ・7794dq 124層張防水工事作業 ・7794dr 125層張防水工事作業 ・7794ds 126層張防水工事作業 ・7794dt 127層張防水工事作業 ・7794du 128層張防水工事作業 ・7794dv 129層張防水工事作業 ・7794dw 130層張防水工事作業 ・7794dx 131層張防水工事作業 ・7794dy 132層張防水工事作業 ・7794dz 133層張防水工事作業 ・7794ea 134層張防水工事作業 ・7794eb 135層張防水工事作業 ・7794ec 136層張防水工事作業 ・7794ed 137層張防水工事作業 ・7794ee 138層張防水工事作業 ・7794ef 139層張防水工事作業 ・7794eg 140層張防水工事作業 ・7794eh 141層張防水工事作業 ・7794ei 142層張防水工事作業 ・7794ej 143層張防水工事作業 ・7794ek 144層張防水工事作業 ・7794el 145層張防水工事作業 ・7794em 146層張防水工事作業 ・7794en 147層張防水工事作業 ・7794eo 148層張防水工事作業 ・7794ep 149層張防水工事作業 ・7794eq 150層張防水工事作業 ・7794er 151層張防水工事作業 ・7794es 152層張防水工事作業 ・7794et 153層張防水工事作業 ・7794eu 154層張防水工事作業 ・7794ev 155層張防水工事作業 ・7794ew 156層張防水工事作業 ・7794ex 157層張防水工事作業 ・7794ey 158層張防水工事作業 ・7794ez 159層張防水工事作業 ・7794fa 160層張防水工事作業 ・7794fb 161層張防水工事作業 ・7794fc 162層張防水工事作業 ・7794fd 163層張防水工事作業 ・7794fe 164層張防水工事作業 ・7794ff 165層張防水工事作業 ・7794fg 166層張防水工事作業 ・7794fh 167層張防水工事作業 ・7794fi
	外壁改修工事	・左置 ・34張り ・使途（建築改修作業） ・耐衝撃荷重注入作業
	建築改修工事	・建築製作 ・フシ施工 ・34施工 ・自動7施工
	内装改修工事	・フシ32系係仕上げ工事作業 ・フシ31系係仕上げ工事作業 ・フシ32仕上げ工事作業 ・内装仕上げ工事（欄干下土工事作業） ・装束（装束仕上げ） ・建築仕上げ ・34張り ・左置
	窓改修工事	・窓改（建築改修作業）
	軒梁改修工事	・鉄板施工（鉄板組立作業） ・鉄板施工 ・とび
	コンクリート（タタ）のタ	・プロシ建築
	・押出成形タタ	

- | | | | | | | |
|---------------------------------------|------------|-------------------------------|------------|-----------------------|----------------------------|---------|
| 11. 化学物質の濃度測定 | 測定方法 | ※ガット法（塩取法） | ・フット法（電引法） | (1, 5, 9) | | |
| | 検定機関 | ※環境計量証明事業の知事登録がある者が、監督官が承認した者 | | | | |
| 測定物質 | ※64747*1*2 | ※342 | ※419 | ※154*1*2 | ※613/3024*1*2 | ※319 |
| 測定単位（量） | | | | | | |
| ※試料採取に当たっては、監督官又は監督官が指定する者が立ち会いの下に行う。 | | | | | | |
| 化学物質の室内汚染濃度測定値 | ※64747*1*2 | 1.021 | 0.719 | 2.56*10 ⁻³ | 1.74/3024*10 ⁻³ | 2.519 |
| | 0.009ppm | 0.010ppm | 0.20ppm | 0.00ppm | 0.04ppm | 0.05ppm |

13. 完成写真

- | | | | |
|---------------|---------------|-----|-------------------------|
| ※ カメラ写真 | 外部 () 内部 () | 302 | ※ 仕様・価格・サイズ類 |
| ※ バッテリー (木製箱) | 外部 () 内部 () | 302 | ※ 半切・全紙 |
| ※ カラーズライド | 外部 () 内部 () | 301 | ※ 24・36以上 |
| ※ 電子データ | 外部 () 内部 () | 302 | ※ 420以上/画素以上
※3500以上 |
- 電子データは、JIS6x6mmのうえR0.05各寸(1mm)、JIS6mm公差最高品質(100%)確保)とし、CD-Rにて提出とする。
- 撮影業者 ※ 建築完成写真撮影の実績のある業者で監督官署の承認する撮影業者

14. 建築材料等

- (1)品質及び性能に関する試験データが確保されていること
(2)重要施設及び品質の管理に付随していること
(3)実用性と経済性が見込まれること
(4)法令等での定め、認可、認定又は標準等を参照していること
(5)経費又は施工の実費があり、その信頼性があること
(6)現行、従来の等価の建築物に用いられていること
(7)その材料等が適当であること、製造業者と定めていること
以上が、試験データに関する事項であり、試験データが不足するものとする。ただし、あらかじめその材料の試験データに関する資料の提出に同意する場合は、試験を受けるものとす。ただし、その材料の試験データの承諾を受ける場合は、その限りではない。
- なお、(2)の公共建築物に発生する「重要材料、重要材料品質性能試験記録書建築物材料等保証書(発行者)」に指定された材料については(1)～(6)に(1)～(6)を要するものとする。
- また、発注者に品質の管理に付随する材料については、当該品質管理の性能を有するものとし、監督機関の承諾を受ける材料とする。

15. 化学物質を発散する

- (1) 合衆、木質系合材、複合木材¹⁾、集成材²⁾、硬質繊維板³⁾、 α - β 型⁴⁾、その他の木質建材、
3) 樹脂板、土仕材⁵⁾及び壁紙はAAA7級⁶⁾を確保できなければ、数値が7級で少ないものとする。
4) 合衆材、繊維材、面材等はAAA7級⁶⁾及びA1級⁷⁾を数値で少ないものとする。数値が7級で少ないものとする。
5) 建築用化粧材(ペーパー⁸⁾及び化粧材⁹⁾と250×400mmを有する1組建築用の可変用板を、AAA7級⁶⁾とする。
6) α - β 型、350mm²⁾を数値で少ないもの、数値が7級で少ないものとする。
7) 1827、1827、350mm²⁾を数値で少ないもの、数値が7級で少ないものとする。
8) 化粧材はAAA7級⁶⁾、1827、350mm²⁾を数値で少ないもの、数値が7級で少ないものとする。
9) 上記①、②及び④の建築材料等を使用して作られた壁紙、書架、実験台、その他の什器等は、
AAA7級⁶⁾を数値で少ないもの、数値が7級で少ないものとする。

なお、861747「D」を放散させないものとは放散量が規制対象外のもの、861747「D」の放散が極めて少ないものと放散量が第三種のもをいい、原則として規制対象外のものを使用するものとするが、該当する材料等がない場合は、第三種のものを使用するものとする。

	规 制 对 象 外
--	-----------

- ②建築基準法施行令第10条の第4項による国土交通大臣認定品
- ③下記表示のあるJAS規格品
- a. JIS8478「D」系接着剤等使用
 - b. 接着剤等不使用
 - c. JIS8478「D」系接着剤及びJIS8479「D」を数値させない材料使用
 - d. JAS8478「D」を数値させない塗料等使用
 - e. JIS8478「D」系接着剤及びJIS8479「D」を数値させない塗料使用
 - f. JIS8478「D」系接着剤及びJIS8479「D」を数値させない塗料等使用
- 第 三 種
- ①JIS5045のFのa級規格品
 - ②建築基準法施行令第10条の第3項による国土交通大臣認定品
 - ③JIS1150のC級規格品
 - ④JIS A50のC級規格品

1 足部

- | | |
|------|--|
| | <p>訪問シートによる養生 ※行わない ・ 行う</p> <p>材料、撤去材料等の運搬 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種 (2.2.1) (表2.2.1)</p> |
| ② 養生 | <p>既存部分の養生 ※ビニルシート等 ・ (2.3.1)</p> <p>既存家具等の養生 ※ビニルシート等 ・</p> <p>固定家具等の移動 ※行わない ・ 行う (図示)</p> |

100

・B種	・木下地	※サコウボード(※9.5	厚さ	・片面
※C種	・単管下地	防炎シート		
仮設扉	※木製扉	※合板張り程度		※無し
	・鋼製扉	※片面フラッシュ程度		・有り

- | | | |
|----------|---|----------------|
| ④ 駆動機事務所 | ※ 設ける
規 模 ※10m程度 ※20m程度 ※ | (2.4.1)(2.4.2) |
| ⑤ 工事用水 | 構内既設の施設
・ 利用できる(※ 有償) ※無償 | ※ 利用できない |
| ⑥ 工事用電力 | 構内既設の施設
・ 利用できる(※ 有償) ※無償 | ※ 利用できない |

1. アスファルト防水

	(2.3.2)(2.3.3)(表3.1)(表3.3.1～表3.3.10)	
防水工法別の工種の種類	施工箇所	新築時の内側の種類
保固防水	・ P＋B ・ P＋B1日 ・ T＋B1日 ・ P2A1 ・ P2A ・ MAC	・ B－1 床B－2 ・ B1－1 床B1－2 ・ A1－1 床A1－2 ・ A－1 床A－2 ・ C－1 床C－2
露出防水	・ M3D ・ P3D ・ P3B ・ P2E	・ D－1 床D－2 ・ E－1 床E－2 (保固費は露出による)
屋内防水	M3D ・ P2E	

アスファルトの仕様	※3種	・ 4種	(2.2.7)(3.2)
保固コンクリートのコンクリート仕様	※保固なし	※無筋コンクリート	(3.2)
二重ドレン (POD工法の場合)	※設置しない	※設ける	(3.2.5)
既設劣化 (M3D、POD工法の場合)	※設置しない	※設ける	(3.2.3)
露出露出外周帯露出の仕上り差 (MAC工法の場合)	※設置しない	※設ける	(3.2.6)
断熱工法の断熱材	※2種	※3種	(3.2.2)

立上り部の保護 ただし、特設フロンをきまぬもの。

- | 2. 改質アスファルト
（シー）防水 | | (3.4.2) (3.4.3) (表3.1) (表3.4-1～表3.4-3) | | |
|-----------------------|------|--|-----------|---------|
| 防水工事工法の種類 | 施工箇所 | 新規防水層の種類 | | 厚さ(mm) |
| ・ M・A・S工法 | | ・ A S-1 | ・ A S-2 | ・ A S-3 |
| ・ M・S・S工法 | | ・ A S-4 | ・ A S-5 | ・ A S-6 |
| ・ P・O・A S工法 | | | | |
| ・ M・S・A S工法 | | ・ A S i-1 | ・ A S i-2 | |
| ・ M・A・S工法 | | | | |
| ・ P・O・A S工法 | | | | |
| 既設改修 全改めない ・ 改める | | (2.3.5) | | |

- | 防水 | 防水工事の仕様の種類 | 施工箇所 | 新規防水工事の種別 | 仕上り塗料の種別 | 使用工種 |
|-------|--------------|------|-----------|----------|-------|
| | ・P O S 工法 | | ・S-F1 | ・S-M1 | |
| | ・S4S工法 | | ・S-F2 | ・S-M2 | |
| | ・S3S工法 | | | ・カラー | ※歩掛り |
| | | | | ・シルバー | ※歩掛り |
| | ・M4S工法 | | ・S-M1 | ・S-M2 | |
| | ・P O S 工法 | | ・S1-F1 | ・S1-F2 | |
| | ・S3S工法 | | ・S1-M1 | ・S1-M2 | |
| | ・S4S工法 | | | | |
| | ・M4S工法 | | ・S1-M3 | | |
| 新築図書 | ・設計なし | ・設計有 | | | (3.3) |
| 日当たり率 | PCCコンクリートの増量 | | | | (3.4) |

4. 塗膜防水

- | | | | |
|--------------|--------------------------------|------|---------------|
| | ・POX工法 | ・X-1 | ・シルパバー |
| | ・L4X工法 | ・X-2 | ・カラー |
| | 既存塗膜防水層表面の仕上げ塗装（L4X工法の場合） | | ・除去する (3.2.6) |
| | 断気装置 ※設けない ・設ける | | (3.6.3) |
| (1～4についての保証) | 防水工事施工者及び請負者連名の保証書（10年）を提出のこと。 | | |

5. 脱气装置

- | | | | |
|-----------|---------------------|----------------|----------------|
| ・平面部脱気型 | ・ポリエチレン樹脂
・ステンレス | ・ABS樹脂
・鋳鉄 | ()
㎡当たり1箇所 |
| ・立上がり部脱気型 | ・合成ゴム
・ステンレス | ・塩化ビニル樹脂
・銅 | ()
㎡当たり1箇所 |

6. シーリング

- | ・ 紅幅シーリング再充てん工法 ・ プリッジ工法
シーリングの種類、施工箇所 (3.7.2) (表3.7.1)
※下表以外は造作標準仕様3.7.1を標準とする | |
|--|----------------|
| 施工箇所 | シーリング材の種類 (記号) |
| | |
| | |
| | |

- ① 事前に発生し、工業製品のシリアルタグを各部位毎に取り付け、シリアルタグ管理についての決定を行うこと。なお、付録表等は発生または監査機関に報告し、PC ③含有割合が変更の場合は協議する。
- ② 2次分析（PC ③含有分析）
- PC ③の含有割合について分析を行うこと。なお、分析結果は速やかに監査機関に報告するもの。
- (1) 採取箇所 計 測所
- (2) 採取方法 分析機関の指示等により行う採取する。
- (3) 分析方法 気ー液クロマトグラフィー法（JIS K0174）
- シリアルタグにPC ③含有について検査の場合
- (1) 検査方法 気相質量分析法（JIS K0174）
- (2) 検査方法 簡便法等により適切に実施すること。また、適切な容器に保管し、採取時期、使用場所、PC ③が含有していること等明記の上、検体管理へ引き渡す。

7. とい

- ・ステンレス鋼板 ・表面処理鋼板
 網管製といふ防露 ※炭素鋼板(表3.8.5)による (3.8.3) (表3.8.5)
 ・次の箇所は行わない()
 ロックウール保温層及びフェノールフォーム保温層のホルムアルデヒド放散量の等級
 ※規制対象外 ・第3種
 換気口 ※有り ・無し
 扉といふ受け食物の取付け ※図示 ・構柱(表3.5.(d) (2) による (3.8.3)

8. アルミニウム製笠木

<ul style="list-style-type: none"> ・ 1.0 形 ・ 2.5 形 ・ 3.0 形 ・ 3.5 形 	※A-1又は B-1種 ・B-2 ()	※図面方法及び開閉 品目表及び実物 は品質計測で定めた 物の特性と本体実測 の仕様による
板材折行の取付工法 ※図示 (3.5.3)		
工法		
既許立木等の撤去 ・ 行う (範囲 ※図示 ・)		
下地補修の工法 ※図示		
板材折曲げ部の立木の取付方法 ※図示		

9. 折板翼

- | | | | | | | |
|--------|--|------|----|----|----|-------|
| 形状(単位) | 山ピン | 山ピンツ | 板 | 板厚 | 溶点 | 0.0・0 |
| 材料 | 溶接性鉄55%Zn19%鉛合金めっき鋼板及び鋼管 (JIS G3302-2012-10) | | | | | |
| (規格等) | | | | | | |
| 鮮食履歴 | 溶着 | 無し | | | | |
| 耐熱材料 | 溶着 | (溶接) | 溶着 | mm | 無し | |
| 耐水性 | 溶着 | 溶着 | 無し | | | |
- (引付時の厚さ)
- ① 長野県農産物加工組合の施設により加工したものは同組合及び調査委託者の保証書(10年)を提出すること。
- ② 上記組合認定以外の施設により加工したものはメーカー、農産物加工業者及び調査委託者の保証書(10年)を提出すること。

1. 施工数量調査

- ひび割れの幅及びひびきを墨線に表示する。また、ひび割れの影響の範囲、墨線の有無及び錆びの染出の有無を調査する。
- モルタル塗仕上及びタイル張り仕上については、浮き部を表面に表示し、また欠損部の形状寸法等調査する。
- コンクリートまたは、モルタル表面のはがれ及びはく落部を墨線に表示する。
- 塗り仕上については、コンクリートまたはモルタル表面のはがれ及びはく落部を墨線に表示する。また、既存塗膜と新規上塗材との適合性を確認する。
- 調査報告書の枚数 ②部

2. 改修材料

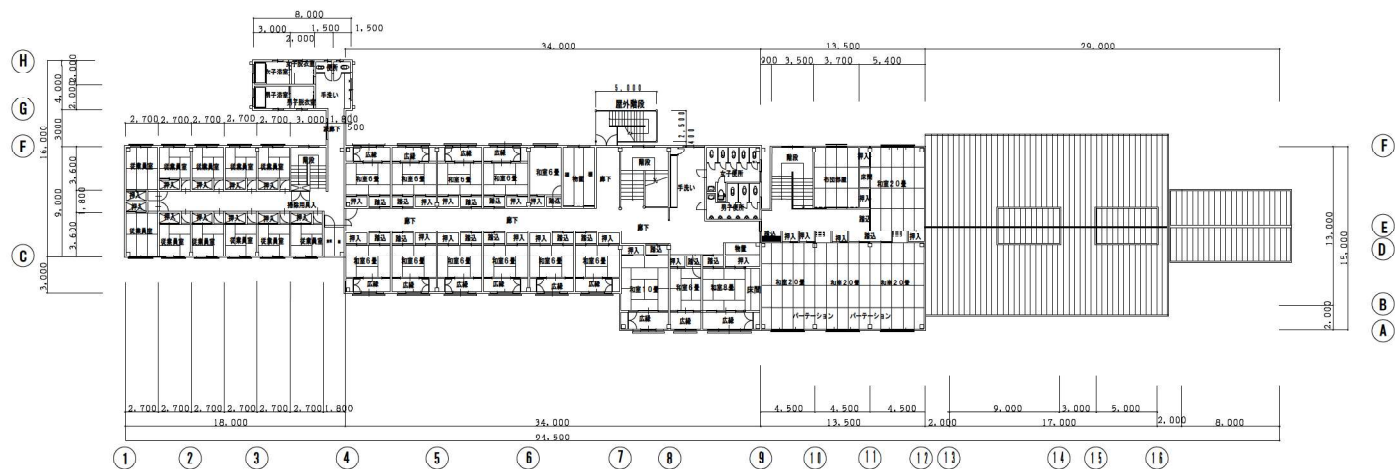
- | (%) | (kg/1) | 標準値 | 選別後戻し後 (%) | (%) | (kg/m ²) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--------------------------|---------------------------|---------------------------|-----------------------------|----------------------|--------------|-----------|------------|------------|----------|--------------------------|--------------------------|---------------------------|---------------------------|-----------------------------|----|----------|----------|----------|---------------|-----|-----|------|-----|-----------|--------|-------|-----|
| 7.0、0以上 | 1.0 kg以下 | 0.6 kg以上 | 0.4、0以上 | 0.2以上 | 4.0以上 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>・バテキエボキシ樹脂 (4.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>加熱耐酸化性 (標準値)</th> <th>接着力 (標準値)</th> <th>圧縮強度 (標準値)</th> <th>曲げ強度 (標準値)</th> <th>硬度 (標準値)</th> </tr> <tr> <td>1.0 kg/m²以上</td> <td>0.6 kg/m²以上</td> <td>50.0 N/cm²以上</td> <td>30.0 N/cm²以上</td> <td>3.0 以下</td> </tr> </table> <p>a. 均等に樹脂と認められる樹脂の濃度が大きいこと。
 b. 対象とする接着剤を被覆する、十分な厚みを得ること。</p> <p>・薬液・薬液 (温度20±15℃、湿度65±10%) において規定値の測定する期間または製造後4ヶ月間経過後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。</p> | | | | | | 加熱耐酸化性 (標準値) | 接着力 (標準値) | 圧縮強度 (標準値) | 曲げ強度 (標準値) | 硬度 (標準値) | 1.0 kg/m ² 以上 | 0.6 kg/m ² 以上 | 50.0 N/cm ² 以上 | 30.0 N/cm ² 以上 | 3.0 以下 | | | | | | | | | | | | | |
| 加熱耐酸化性 (標準値) | 接着力 (標準値) | 圧縮強度 (標準値) | 曲げ強度 (標準値) | 硬度 (標準値) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1.0 kg/m ² 以上 | 0.6 kg/m ² 以上 | 50.0 N/cm ² 以上 | 30.0 N/cm ² 以上 | 3.0 以下 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>・可とうエボキシ樹脂 (4.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>性 能</th> <th>劣化強度</th> <th>圧強度</th> <th>加熱強度</th> <th>引張接着性</th> </tr> <tr> <td>加熱強度</td> <td>1.0 N/cm²以上</td> <td>1.0 N/cm²以上</td> <td>1.0 N/cm²以上</td> <td>最大付着率 1.0 N/cm²</td> </tr> <tr> <td>伸び</td> <td>30.0 %以上</td> <td>30.0 %以上</td> <td>30.0 %以上</td> <td>破壊時の伸び 10 %以上</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <th>比 重</th> <th>弾出性</th> <th>スラップ</th> <th>加熱量</th> </tr> <tr> <td>表示数0.05以下</td> <td>0.05以下</td> <td>3mm以下</td> <td>5以下</td> </tr> </table> <p>a. 均等に樹脂と認められる樹脂の濃度が大きいこと。
 b. 対象とする接着剤を被覆する、十分な厚みを得ること。</p> <p>・薬液・薬液 (温度20±15℃、湿度65±10%) において規定値の測定する期間または製造後4ヶ月間経過後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。</p> | | | | | | 性 能 | 劣化強度 | 圧強度 | 加熱強度 | 引張接着性 | 加熱強度 | 1.0 N/cm ² 以上 | 1.0 N/cm ² 以上 | 1.0 N/cm ² 以上 | 最大付着率 1.0 N/cm ² | 伸び | 30.0 %以上 | 30.0 %以上 | 30.0 %以上 | 破壊時の伸び 10 %以上 | 比 重 | 弾出性 | スラップ | 加熱量 | 表示数0.05以下 | 0.05以下 | 3mm以下 | 5以下 |
| 性 能 | 劣化強度 | 圧強度 | 加熱強度 | 引張接着性 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 加熱強度 | 1.0 N/cm ² 以上 | 1.0 N/cm ² 以上 | 1.0 N/cm ² 以上 | 最大付着率 1.0 N/cm ² | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 伸び | 30.0 %以上 | 30.0 %以上 | 30.0 %以上 | 破壊時の伸び 10 %以上 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 比 重 | 弾出性 | スラップ | 加熱量 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 表示数0.05以下 | 0.05以下 | 3mm以下 | 5以下 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

- | | | | | | |
|--------------------------|---------|---------|---------|----------|----------|
| 圧強度(N/mm ²) | 0.50 以上 | 0.40 以上 | 0.40 以上 | 0.40 以上 | 0.40 以上 |
| 縦筋配率(%) | 75 以上 | 50 以上 | 50 以上 | 50 以上 | 50 以上 |
| 品質特性 | | | | アスファルト混土 | 普通コンクリート |
| 圧入強度(N/mm ²) | 1.00 以上 | 1.00 以上 | 1.00 以上 | 1.00 以上 | 1.00 以上 |
| 伸び(%) | 30 以上 | 30 以上 | 30 以上 | 20 以上 | 20 以上 |
- 耐圧強度 縦筋強度に換算し変化がないこと。
 耐久性 JIS A 5548 に基づき試験において、80℃で湿度、6.0%のもで測定していること。
 a. 外観上の有害な変質と変質の発生の少ないこと。
 b. タイル、石材、充填物等との適合性があること。
 c. 「化学物質の有害性及び有害成分の含有率に関する法」に基づく有害化学物質及び「労働安全衛生法」に基づく、「労働安全衛生法附則」に規定される第一種有害化学物質を使用していないこと。
 d. 炭素・水素 温度(20±15℃、湿度(65±20%)において製造後6ヶ月間保った上で上記品質特性に適合していること。
 e. ずり破壊時があること。
 f. 平接破壊時時の弾性が基準となるが試験結果は異なること。

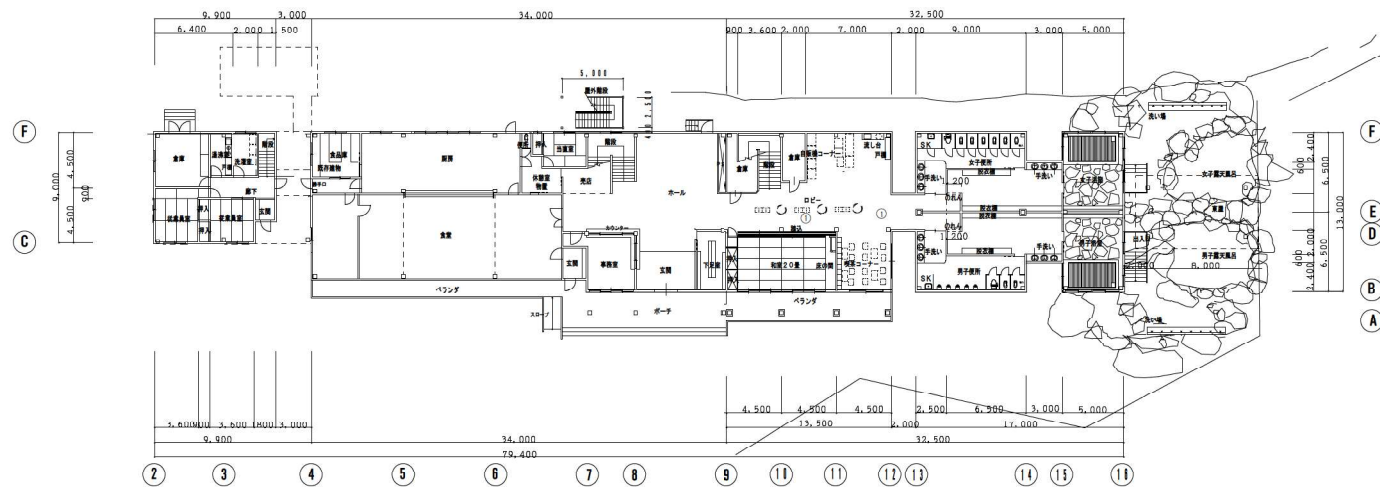
- | 1. 0 N/mm ² 以上 | 20. 0 N/mm ² 以上 | 10. 0 N/mm ² 以上 |
|---|----------------------------|----------------------------|
| <p>a. こて置りが容易で、かつ硬化後の上置りが良好であること。</p> <p>b. 強度で要求と認められる数値の差がないこと。</p> <p>c. 「労働安全衛生法」に基づく「有毒液体汚染物質規制法」に規定された第一種有機溶剤系を使用しないこと。</p> <p>d. 形状に異常がなく、だれが生じないこと。</p> | | |
| <p>e. 常温・常湿（温度20±15℃、湿度45±20%）において製造後6ヶ月間保存しても上記品質特性に適合していること。</p> | | |

							図面名称 改修特記仕様書 (1)	
令和4年度 有明荘便所改修工事							年月日 2022.1.14	図面総枚数 8
								図面番号 A-1

[illegible]

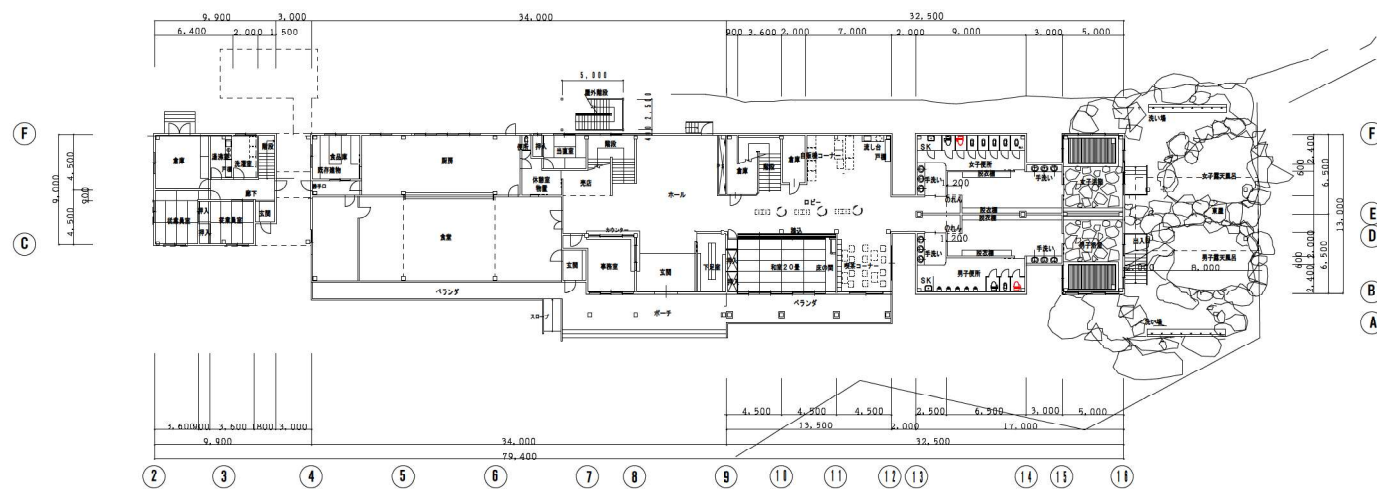
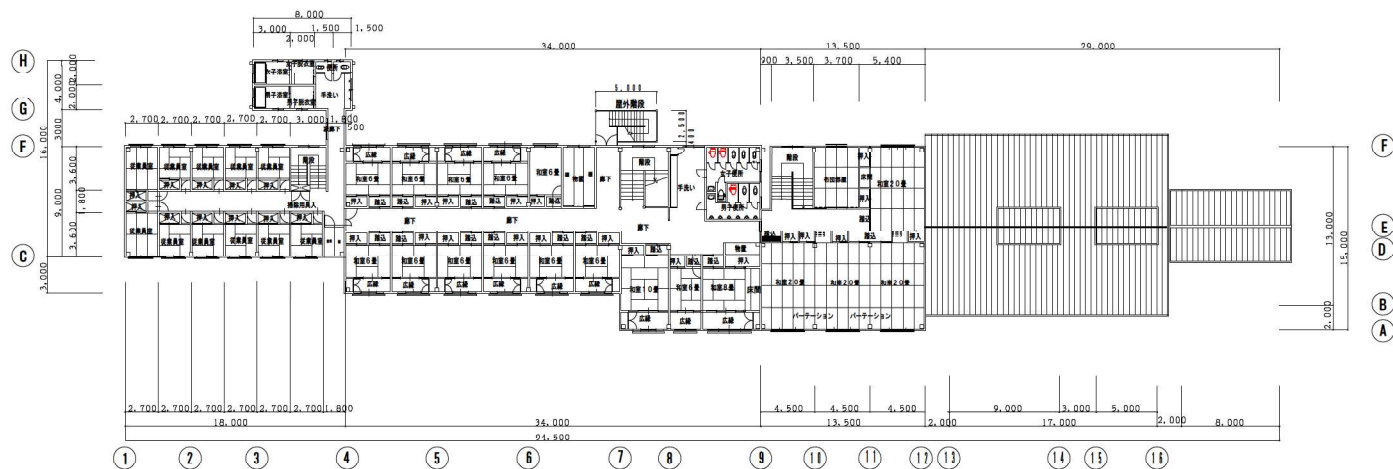


2階平面図 1/200

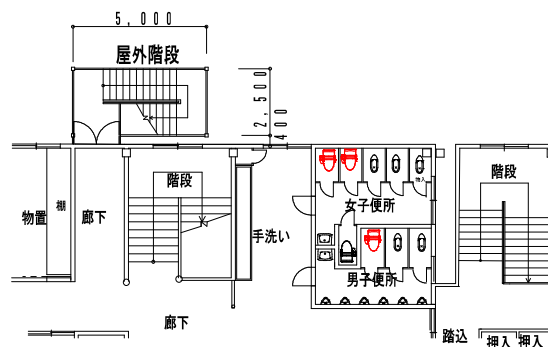


1階平面図 1/200

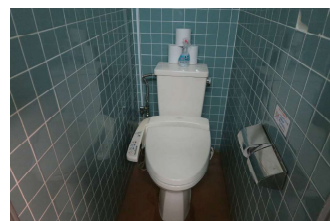
E 事	後図	訂正	作図 R1.1.1	現状平面図	A-1	1/200	令和3年度 有明荘トイレ改修工事	A-5
					A-3	1/400		



記 事		検測	訂正	作図		改修平面図	A - 1	1 / 2 0 0	令和 3 年度 有明荘トイレ改修工事	A - 6
				R 3 . 3 . 1			A - 3	1 / 4 0 0		



2階平面図 1/100



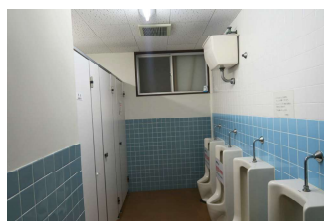
既存洋式トイレ



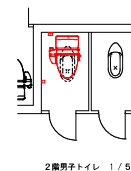
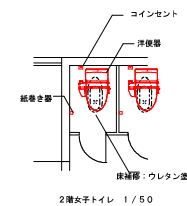
男子改修前写真（現状）



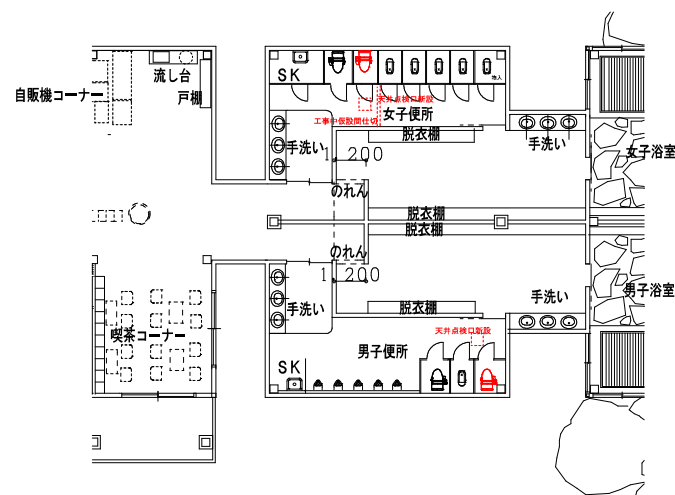
女子改修前写真（現状）



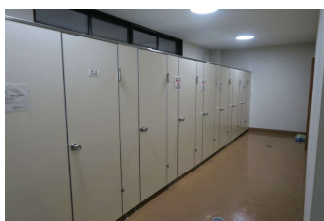
男子改修前写真（現状）



既存改修（共通）		TOTO
洋便器	CS215BPR	付属金物一式
	SH215BAS	TCF6623
紙巻き器	YH650	
コンセント	露出タイプ	
床穴埋め	1.5㎡	
塗床塗装	1.0㎡	
天井点検口	アルミ450角	



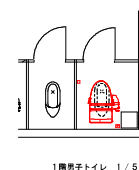
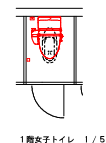
2階平面図 1/100



女子改修前写真（現状）



男子改修前写真（現状）



記		機図	訂正	作図	改修平面詳細図	A-1	1/100	令和4年度 有明荘便所改修工事	A-7
事				R1.3.1		A-3	1/200		